

北部農場（京都農場）について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年10月28日）

昨今農場へ部外者が立ち入る事案が増えております。北部農場については農場入口において部外者の立ち入り禁止が明記されていますが、無視されている、あるいは認識されていないのが現状です。

そこで北部農場への部外者立ち入りについて改めて大学としての立場を明らかにしていただくとともに、今後の対策及び職員や学生による部外者への対応法について明記していただきたいと思っております。

【回答】（回答日：2020年11月13日）

（回答部署：農学研究科）

このたびは、「北部農場」（京都農場）の件でご意見・ご要望をいただきありがとうございます。以下に回答を記します。

・『北部農場への部外者立ち入りについての大学としての立場』について

京都農場は農学研究科附属農場の管轄下にあります。農学研究科農学専攻のいくつかの研究分野が管理運営も含め実験圃場として使用しています。農学研究科附属農場および京都農場を使用する研究分野では、部外者の無断立ち入りを原則として認めていません。そのため、主要な入場箇所にはその旨の掲示をしています。また、施錠時にはフェンスにより容易に立ち入りができないようにしています。

・『今後の対策及び職員や学生による部外者への対応法』について

今回のご意見・ご要望にある「農場へ部外者が立ち入る事案が増えている」ことについては、十分に認識をしています。そのいくつかは関連分野の許可のもとで行われておりますが、無断の立ち入りもしばしば見られ、不審者対応として施設や倉庫には個別に施錠をするといった対応をとってまいりました。また、警備員の夜間の巡回と確認についても回数を増やすなどの依頼をしてまいりました。それでも露地圃場には近隣の人たちの無断立ち入りが見受けられます。

以前より、京都農場を研究・教育に活用する教職員・学生には、夜間・休日の施錠管理の徹底をもとめているところです。今回のご意見・ご要望を受けて、改めて、京都農場利用者・関係者に対して、施錠管理、および部外者（とくに不審者）の立ち入りを発見した際の関係各署への連絡について再度周知します。今後「農場へ部外者が立ち入る事案が増えている」ことの実態が農場の運営・管理上悪化する場合には、その実態に即した対応を検討したいと思っておりますので、引き続き情報の提供をお願いします。